

令和2年度

静岡市スポーツ推進審議会 会議録

静岡市観光交流文化局
スポーツ振興課

令和2年度 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和2年12月17日（木）15時00分から16時30分まで
- 2 場 所 静岡市中央体育館 3階大会議室
- 3 出席者 【委員】（50音順・敬称略）
今泉幸広、岩田正直、内川麻衣子、大橋敏弘、片岡佳美、青木秀剛、
柴田貴雄、木宮敬信、中地良成、望月友葉
【事務局】
（スポーツ振興課）
杉山スポーツ振興課長、和田課長補佐（スポーツ推進係長事務取扱）
木村スポーツ政策係長、村松主任主事、永野主任主事、
杉浦（会計年度任用職員）
（スポーツ交流課）
長澤スポーツ交流課長
- 4 欠席者 遠藤知里、小田きみえ、片桐晶子
村田真一、望月勇志
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による
静岡市スポーツ推進審議会スケジュールの見直しについて
(2) スポーツ・イン・ライフ事業関連の意見書への事業出し

8 会議概要

司会（木村スポーツ政策係長）

〈開会〉

杉山スポーツ振興課長

〈挨拶〉

司会（木村スポーツ政策係長）

- ・ 新任委員、事務局紹介（柴田委員：令和2年4月に委嘱）
- ・ 事務局自己紹介

司会（木村スポーツ政策係長）

- ・ 会議成立（委員半数以上の出席により会議成立）

木宮会長

- ・ 会議の公開
事前の傍聴希望者なし。希望者がいた場合には傍聴を認める。〈異議なし〉
当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する。〈異議なし〉
- ・ 会議録署名人の選出 中地委員〈承諾・異議なし〉

事務局（永野主任主事）

- ・配付資料の確認

議事（１）新型コロナウイルス感染症の影響による

静岡県スポーツ推進審議会スケジュールの見直し【資料１】

○静岡県スポーツ推進審議会について

- ・新型コロナウイルス感染拡大による令和元年度第３回、令和２年度第１回審議会の書面開催
- ・スポーツ推進審議会書面開催の影響によるスケジュール変更
上段（旧）令和３年３月までに教育委員会への意見書を提出



（新）令和３年８月までに教育委員会への意見書を提出

下段（旧）令和２年１１月（第２回）審議会の予定

「スポーツ・イン・ライフ事業関連の意見書への反映方法」



（新）令和２年１２月（第２回）審議会の予定

「スポーツ・イン・ライフ事業関連の意見書への事業出し」

- ・令和３年３月（第３回審議会）で「諮問に対する意見書（案）」の確認、
第２回審議会の意見の反映
- ・令和３年６月（第１回審議会）で意見書（案）の確定
- ・令和３年８月審議会委員任期満了

議事（２）スポーツ・イン・ライフ事業関連の意見書への事業出しについて【資料２】

【No. １】令和２年６月（第１回審議会）の書面による「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」に資する審議会委員からの事業案についての報告

- ・世代にあった事業の提案やアプリの開発
- ・体験型のイベント
- ・情報発信に係る事業
- ・SNS等を活用した自宅でできる健康体操などの配信
- ・コンテストの開催

【No. ２】スポーツ推進計画について

- ・No. １の内容を踏まえ「（４）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」だけでなく、
加えてスポーツに対する関心度に応じた事業の展開が必要となる。

【No. ３】「各ライフステージと各関心度に合った事業の提案」についてのワークショップ

- ・ワークショップグループ内訳

A. 働きはじめ世代 スポーツ関心度関心層（週一回以上スポーツをする人）

モデルケース : 杉浦（会計年度任用職員）

グループメンバー：木内会長、今泉委員、中地委員、望月委員（発表者）

B. 働きざかり・子育て世代 スポーツ関心度中間層

(週一回はしないが定期的にスポーツをする人)

モデルケース : 木村スポーツ政策係長

グループメンバー: 柴田委員、内川委員 (発表者)、岩田委員

C. 働きざかり・子育て世代 スポーツ無関心層 (まったくスポーツしない人)

モデルケース : 村松主任主事

グループメンバー: 片岡副会長 (発表者)、大橋委員、青木委員

・発表のポイント

- (1) モデルケースが抱える課題や傾向をあげる
- (2) 課題や傾向をふまえて事業の方向性を示す
- (3) 課題解決に向けた事業を立案

以上3つのポイントを踏まえ、各グループ30分程度のワークショップを行う。

・各グループの発表

Aグループ

課題や傾向 : 現在は週一回以上スポーツをしているが、環境の変化によりスポーツを行わなくなる可能性があるため、モチベーションの維持が難しい。その原因としては以下があげられる

- ① 経済的に余裕がない
- ② 仕事との両立が時間的、精神的に困難
- ③ 学生時代と比べて仲間が少ない

事業の傾向 : 課題の傾向から、スポーツを行う上での手間を簡略化し、仲間作りを促す環境づくりが必要である。

事業の立案 : ①静岡市や体育協会などが行っているイベントや、教室など世代や興味に合わせて提案するシステムの構築
②一緒にスポーツをする仲間を見つけられる、スポーツ専用のマッチングアプリの開発

Bグループ

課題や傾向 : 仕事だけでなく、自宅でも家事や育児などがあり、スポーツのためになかなか新たな時間を作ることが困難である。

事業の傾向 : 家事や育児などの私生活にスポーツを取り入れる。
スポーツをすることへの付加価値を与える。

事業の立案 : ①家事スポーツアプリの開発 (家事をスポーツにする提案)
その日行った家事をアプリ内で登録し、消費カロリーを可視化できる。
②アプリ内で消費カロリーごとにポイントが付与され、付与されたポイントを使用してキャラクターを育てることができる。

Cグループ

- 課題や傾向 : スポーツ自体に興味がなく、スポーツ以外にやることがある。
年齢的に、まだスポーツをしなくても健康に影響がないと思っている。
スポーツをすることに意味を見出せない。
- 事業の傾向 : スポーツ（運動）があまり好きではない人に興味を持ってもらうことが重要。
スポーツをやることに付加価値を与える。
→ターゲットを絞り、様々なイベントにスポーツを絡める
- 事業の立案 : ①特定のターゲットを対象としたスポーツイベントを企画する。
(例) 独身を対象とした婚活スポーツイベント
子供と一緒にできるスポーツイベント
②企業と連携しスポーツ専用のアプリの開発
歩数などで競うコンテストなどをアプリ内で開催。景品も企業と連携し、より良いものにする。
家庭でも簡単にできる運動を提案する。(女性がターゲット)

〈総括〉

木宮会長

今回のワークショップにて出た案は、具体的な事業案を考える際に参考にしてほしい。
ワークショップをやって気づいたことは、スポーツ振興課の中でも、スポーツ関心層、無関心層など、様々な人がいるということ。そのことから、「まず身近な人をどうするか」という視点でターゲットを明確にし、事業を考えることが重要である。

以上ですべての議事が終了したため、議長の職を終わらせていただく。

司会（木村スポーツ政策係長）

〈閉会〉

令和元年度静岡市スポーツ推進審議会の審議内容について、上記のとおり相違ありません。

令和2年12月17日

静岡市スポーツ推進審議会长

木宮敬信



会議録署名人

中世良成



